

Voices



ヴォーリスだより



— 特集 —
前立腺がん検診 / 胆・膵・肝がん検診

巻頭言

「ヴォーリス・メモリアル・ヴィレッジ
第2弾の試み～住宅型有料老人
ホーム開設に向けて～」

公益財団法人 近江兄弟社
副理事長 澤谷 久枝



Vol. **173**

2025年3月発行

基本理念

キリスト教の「隣人愛」と「奉仕」の業を、医療を通して実践します。
— 私たちは、基本理念を大切にします。 —



「ヴォーリズ・メモリアル・ヴィレッジ 第2弾の試み ～住宅型有料老人ホーム開設に向けて～」



公益財団法人 近江兄弟社
副理事長・事務長 澤谷 久枝

当法人は、設立106年を超え「すべての方々が住み慣れた地域や自宅で自分らしく生きがいをもって生活できる」よう地域包括ケアシステムの推進に注力しております。

2022年に近隣地に新病院の建設移転を機に、旧病院の敷地と残施設を既に提唱している「ヴォーリズの里構想 ヴォーリズメモリアル・ビレッジ」（いのち つながる 循環型まち・ひと・しごと創生の里）の一環として利活用を行います。

その第一弾としては、2023年4月に障がい者就労移行支援事業として『ワークステーション・ヴォーリズ』を開設し、2025年1月現在8名の利用者さんが就労雇用に繋がり、新たな一歩を踏み出して下さっています。新天地でのご活躍を祈りたいと思います。

さて、今年度12月開設を目指して、旧病棟の一部を医療依存度の高い難病の方、重度の要介護の方が最期まで安心して暮らすことのできる「住まい」に改修します。

入居者が地域と繋がり社会参加を促すため、地域多世代コミュニティ拠点及び近江八幡市の医療・介護の相談・支援拠点として「中北部地域包括支援センター」を移転します。同時に「環境への配慮、地域社会への支援、ともに働く人々の満足」を理念に活動している特定NPO法人三方よし研究会事務所が当建物内に移転する予定です。

改修する旧病棟（ヴォーリズ記念病院希望館）は新耐震建築物であり、既に耐震性は担保されており、適切な改修を加えることにより「住まい」としての機能を担保するとともに管理室・イベントホール・カフェ・地域包括支援センター等付帯施設をコンパクトに配置した建物とします。

ヴォーリズ・メモリアル・ヴィレッジ構想コンセプトは、ヴォーリズの歴史的背景を基に地域融合循環型「まち」創りを行う。

- ① 健康と上手く付き合うことができる環境
- ② 就労環境が担保され展開できること
- ③ 居住・交流を含めた多世代にまたがるコミュニティが形成されること
- ④ 楽しみや生きがいが創発できる空間があること

としていて、今回の「住まい」事業は③に該当致します。

医療依存度の高い難病（がん、パーキンソン病患者等）、重度の要介護者、障がい者の方こそ、住み慣れた自分の部屋で最期まで自分らしく暮らす環境を望まれています。しかしながら、医療体制がしっかりしているところはいわゆる「施設」が大半であり、医療の安心はあるものの、自由で自分らしい暮らしは難しいです。昨今は、高齢者の独居、老々世帯、ご家族との縁の薄い方もおられ、家族のサポートが受けられる方は少なくなりつつあります。長期入院や入退院を繰り返す方々の増加だけでなく、孤独死・独居死の増加は社会不安につながります。

逆に手厚い医療・介護のバックアップがあれば、難病の方であっても社会活動への参加や地域で活躍出来る方も多いと思います。高齢者・医療依存度の高い方が、入院や入所ではなく、地域で最期まで尊厳をもって暮らせる「住まい」と自己実現できる仕組み、そしてきちんと看取る体制を創出することが必要と考えています。

2025年度の挑戦に向けて、現財団事業とともに、引き続きのご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

感謝

チャプレンだより③⑤ 「ぞうきん」



チャプレン 中村信雄

心に残る詩があります。岡山県にある玉島教会で牧師をしていた河野進先生が遺されたものです。河野先生は、長島愛生園、邑久光明園（ハンセン病の療養所）にも行って礼拝されていました。

「ぞうきん」

こまった時に思い出され
用がすめば すぐ忘れられる
ぞうきん

台所のすみに小さくなり
おくいを知らず
朝も夜もよるこんで仕える
ぞうきんになりたい

自らが汚れることで周りを綺麗にするぞうきん。尊い働きをしてもたかぶることなく、評価されなくてもひがみません。与えられた使命を黙々と果たしています。その姿に、弟子たちの汚れた足を洗ったキリスト、病床に伏してなお我が子のために祈る母親、変わらないでいてくれる友、そしてあなたの愛を思い出します。



「ストレッチをしてみよう！」 第3弾

メディカルフィットネスセンター ヴォーリズ 所長 久保 大志

～臀部のストレッチ～

写真は左の臀部を伸ばしています



右脚を上にして組み、両脚を右に倒すと左の臀部が伸びます
上記の逆パターンも行い両方の臀部を伸ばしましょう。
左右ともに30秒以上かけてゆっくり伸ばしましょう。
臀部が緩むと腰痛の予防にもなりますよ～！！

参加
無料

メディカルフィットネスセンターの運動体験会 午前10時～11時

映像による当センターオリジナルの体操、トレーニングマシンなど簡単な運動体験

日程 3/19(水)
場所 当院チャペル

※気象条件や感染症の拡大によっては中止になる場合があります

特

集

MRIによる

前立腺がん検診／胆・膵・肝がん検診

目指せ
健康な
未来

受けよう！がん検診

～ 早期発見で早期治療を ～

症状がない時、病院へはつい足が遠くなってしまいます。しかし、症状のない病気も少なくなく、気づいた時には病状が進行していたという例もあります。多くの病気は、発見が早ければ早いほど、治る確率が高くなります。

がん検診の目的は、がんを早期発見し、適切な治療を行うことで、がんによる死亡を減少させることです。

前立腺がん検診

- * 多くの場合比較的ゆっくり進行し、症状が出るまで時間がかかる。
- * 症状が出て発見された場合は、すでに転移がある進行がんであることが多い。

◆ 料金 ◆ (税込)

MRI + PSA

23,880円

MRIのみ 20,900円

胆・膵・肝がん検診

- * 予後も厳しい難治性がんが多い。
- * 早期診断の難しさがある。
- * 膵臓がんは進行スピードが速いだけでなく、早期がんでは症状が現れにくい。一般的な人間ドックの基本項目には含まれていないことが多い。

◆ 料金 ◆ (税込)

MRI (MRCP)

21,720円

MRI は、初期の脳梗塞の診断の他、胆膵肝等の消化器系及び前立腺がんの診断に有用です。

前立腺がんは今後、男性癌罹患率1位になると予測されています。日本泌尿器科学会では、40歳以上の方への検診を受けることを推奨されています。



肝臓は「沈黙の臓器」
膵臓は「暗黒の臓器」と呼ばれるように、病気になっても自覚症状が無く、病気に気づきにくい臓器です。

がんを早期発見するには定期的な検診が何よりも重要です

お問合せ

ヴォーリス記念病院 健診センター

☎ 0748-36-5467

受付時間 13:00～17:00

(月～土 *日・祝・年末年始除く)



「医療者が患者・家族の良き伴走者とならうには」

講師：いのちの臨床家 ホスピス医 細井 順医師

2024年12月11日（水）全人的ケア委員会主催の研修が当院チャペルにて開催されました。研修を通して全人的ケアを理解し、患者様や家族様への思いやりある対応やケアにつながることを目的としております。ケアする人に必要な人間力、コミュニケーション術、相手を理解することについて学びました。

緩和ケアに携わり早4年、看護の奥深さを感じています。今回の講演の中にもありましたが、細井医師からはよく「人物理解」と患者さんの言葉の「その言葉の裏にあるもの」を考えるように言われます。「早く死にたい。どうやったら死ねるの」という訴えにも、まずは受け止め理解すること。相手の気持ちに寄り添える人間力を身につけ、患者・家族の良き伴走者となるよう努めたいと思います。

緩和ケア病棟 師長 野村 嘉代



講演に参加して、日々の看護について振り返る事ができた。私が、良き伴走者になれるように、相手に何かをしてあげるのではなく、発せられた言葉、一言一言の深い思いを知り、共にいる事を意識した看護をこれからも提供していけるように日々努力していきます。

回復期リハビリテーション病棟
師長 桐畑 由美

人間は皆同じです。
一人では生きられませんし、終われません。
共に笑い、共に泣いて苦しみを分かち合いましょう。

2024年度 近畿地区「床ずれセミナー」開催

日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会主催

在宅でできる床ずれ予防と治療法

～ポジショニング・シーティングの重要性と外用療法の実践～

(日時) 1月19日(日)11:00～16:00

(会場) ニプロ iMEP ニプロホール

日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会は、在宅において悩んでいる方々を救うため在宅医療従事者が協力して解決する会です。協会では全国を7つの地区ブロックに分けて、各地区で同様の「床ずれセミナー」を開催し、在宅に特化した床ずれケアを広げる運動を展開中です。

この度、当院、北野晴久医師が、2024年度近畿地区会長として運営致しました。

当セミナーにボランティアとして参加しました。何人かの方とお話し、みなさん職種に関わらず、処置や福祉用具に関心が高いことに驚きました。褥瘡のある患者様・利用者様の生活の場所では、褥瘡形成要因、悪化要因は何か、自分の専門だけでなく多面的なアセスメントとケアが大事であると改めて学びました。今後もセミナーや学会に参加し、情報をもらったり、発信できるように多くの人と交流を深めたいと思います。

医療療養病棟 看護師 寄本 陽子



BLSについて②

医療安全管理室 吉崎 直美

誰かが倒れていたら…

- ①倒れている人の周りの安全を確認する
- ②誰か助けて！と応援を呼ぶ

大きな声で多くの人を呼び集めましょう！



- ③「大丈夫ですか」と声をかけて意識があるか、息をしているか確かめる
- ④意識もなく息をしていない場合は胸骨圧迫を開始する

「胸骨圧迫を開始する」の続きは次号でお知らせします。

管理栄養士ようちゃん
おススメ！

当院の行事食をご紹介します♪

入院中の患者様にとっては食事は唯一の楽しみ。食材費の高騰で給食産業は苦しい現状ですが、行事食やレクレーションで軽食を提供したりと施設毎に色々な工夫をしています。もちろん、当院でも季節毎の行事食も対応しています。今回は当院の行事食やそれを彩る行事カードや包装紙を紹介致します。

桜の季節には「花見弁当」



ひな祭りには
「箱寿司」・「ひなあられ」
「女雛・男雛の饅頭」なども



お膳に沿える行事カードや弁当の包装紙なども自作しています。

お弁当の包装紙
2022年観桜会弁当に使用お正月カード
2023年お正月メニューに使用

入院中でも季節を感じて頂けるように四季折々の内容を心掛けています。



「近江兄弟社 創立120年記念の夕べ・第120回創立記念式」

1月31日（金）「近江兄弟社 創立120年 記念の夕べ」会場：グリーンホテルYes近江八幡

2月1日（土）「近江兄弟社 第120回 創立記念式」会場：日本基督教団 近江八幡教会

W.M.ヴォーリスのはじめた事業は現在に至るまで、建築会社、製薬会社、医療福祉、教育分野へと展開してきました。事業体は「近江兄弟社グループ」として今も協力し、ヴォーリスの理念を引き継いでいます。近江兄弟社では、ヴォーリスが近江八幡に初めて足を踏み入れた日（1905年2月2日）を「創立記念日」とし、2月1日は「創立記念の夕べ」として、近江兄弟社で勤続25年を迎えられた社員に祝福と労い、そして感謝の時を催しています。

25年勤続表彰 おめでとうございます!

「なんと!! 勤続25年!!」今思えばあっという間の25年。私のような未熟者を雇っていただき、根気よくご指導いただいたヴォーリス記念病院の皆さまに感謝申し上げます。勤続30年目指して大好きなヴォーリスで働き、お役に立てるよう努力していきます。ワークステーションヴォーリス

田村 真理



病院は山の中にあり、ツッカーハウスの横には大きな大王松、春夏秋冬を感じられる自然豊かな環境で、春は観桜会、新入職員歓迎会、初夏には職員旅行、ターミナル講演会など、懐かし思い出されます。沢山の同僚に支えられ心より感謝しています。

看護師 中川 たへ子

25年間という長い期間、働き続けることができたのは、支えていただいたすべての皆様のおかげだと、この場を借りて、心から感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。勤続30年を目標にこれからも精進して参ります。

地域療養支援部 副部長 加藤 和幸

勤続25年を迎えることが出来たのは、先人の先輩方、病院の皆様、家族の支えのおかげです。これからも、病院の職員として尽力を尽くし、30年、35年と続けていけるよう頑張ってお参りますので、宜しくお願ひ申し上げます。

企画渉外課 課長 木村 吉宏

シリーズ「検査科だよ!」

「なかやま、検脈!」

臨床検査技師/臨床工学技士 鯉江 賢二

日本心臓財団は、心臓病や脳卒中などの循環器病を克服するための事業に取り組んでおられ、この前、車の運転中、FM滋賀を聞いていたらACジャパンのCMで、お笑い芸人のなかやまきんに君さんが「おい、オレの脈。正常かい? 不規則なのかい? どっちなんだい!」と問いかけます。正常な脈と心房細動との違いを表現しています。

技師の立場から心房細動について話をさせていただきます。心臓は血液を全身に送るポンプ機能で、心房から心室に電氣的興奮が伝わることでその働きをします。心房細動は心房筋が細かく震え、この無秩序な興奮は、すべて心室に伝わるわけではなく、その大部分をブロックして数回に1回の割合で心室に伝わります。伝わり方がばらばらなので脈が不規則になります。ご自身の検脈で発見できます。診断は心電図になります。心房筋が細かく震えることで血栓が発生しやすく、その血栓が心臓に近い脳にいくことで脳梗塞をおこします。治療には薬物等があり早期の発見が重要になります。

テレビCM、ポスター、ACジャパン ホームページには、なかやまきんに君さんが思わず真似したくなるポーズで検脈の方法と健診の大切さを伝えています。



心房細動の心電図

病院からの お知らせ

◆ 出前講座のご案内

ヴォーリズ記念病院では、地域の皆様の交流と健康づくりのお手伝いの一環として、当院医療スタッフが地域に出向き、医療や健康に役立つ専門的知識・技術などを紹介します。

地域の皆さまの健康保持増進や疾病予防などのお役に立てればと願っております。ぜひご利用ください。

会場に当院チャペルを
ご利用頂けます！

【お問い合わせ】 ヴォーリズ記念病院 企画渉外課
TEL : 080-9590-5725 (直通)

※詳細は、ホームページにてご確認ください。

お気軽にご相談下さい。



「滋賀県がんと向き合う週間」

2月4日～10日

毎年2月4日から10日までの1週間を「滋賀県がんと向き合う週間」と規定し、「県が県民および事業者の間に広くがんに関する理解と関心を深めるとともに、がんの予防、早期発見等に関する自主的な取組への意欲を高める」こととしています。期間中、県のみならず 関係機関・団体協力が一体となって、がんに関心を持っていただけるよう講演会などのイベントや広報を行います。当院も、1階の外来フロアにて、がん検診啓発ポスターやがん情報の掲示を行いました。

「大人ももらおう！ 大事なからだの成績表」

● ●
がんの正しい知識を持ちましょう
● ●
がん患者が安心して、充実の生活を
送れるよう協力しましょう

- がんを予防しましょう
- がん検診を受けましょう

私はがんになりません。
そう言いきれるのは、
2人に1人。



滋賀県健康づくりキャラクター しがのハグ&グミ

地域療養支援部

患者様やご家族様に住み慣れた生活の場で、安心して療養し生活を送って頂けるようサポートします！

- ・健康保険、介護保険等の社会保障制度について
- ・在宅での生活、介護についての不安
- ・施設の入所や利用について
- ・地域の病院、開業医の皆様からの受診、入院依頼

※総合受付の並びの4番相談窓口まで、お気軽にご相談ください。

TEL (0748) 32-5221 (直) / FAX (0748) 36-5412 (直)

〒523-0805 滋賀県近江八幡市円山町927-1

電話 : 0570-01-5211

FAX : 0748-32-2152 (代表)

*シャトルバス(無料送迎)あります。

●編集後記●

今年は、創業者W.M.ヴォーリズ氏の来日120年の記念の年です。彼は嬉しいこと、上手くいったことがあると「ハンザイなこっちゃ！」とよく口にされたそうです。様々な企画が予定されているとの事。是非、近江八幡市に足を運んでみてください。

【編集・発行】 公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリズ記念病院 企画渉外課

公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリズ記念病院